

II 世帯属性別主要耐久消費財の所有状況

1 世帯主の年齢階級別主要耐久消費財の所有状況

(1) 年齢階級による所有数量の違い

世帯主の年齢階級別の所有数量をみると、30歳代では空気清浄機、40歳代ではビデオレコーダー、ビデオカメラ、書斎・学習用机といった教養娯楽用耐久財や食器洗い機が他の年齢階級よりも多くなっている。

50歳代では、自動車、パソコン、カラーテレビ（ブラウン管）などの交通・通信や教養娯楽用耐久財のほか、整理だんすなどが他の年齢階級よりも多くなっている。

60歳代では、ユニット家具や薄型テレビなどが他の年齢階級よりも多くなっている。

70歳以上では、和だんす、茶だんす・食器戸棚、応接セットなどの一般家具が他の年齢階級よりも多くなっている。

なお、30歳未満では、他の年齢階級よりも多くなっている耐久消費財はなかった。

また、電子レンジ、自動炊飯器など普及率が高く、1世帯に1台の所有形態が多い耐久消費財については、年齢階級別の所有数量に大きな差はみられない。（表Ⅱ－1）

表Ⅱ－1 世帯主の年齢階級別1000世帯当たり主要耐久消費財の所有数量
(二人以上の世帯)

品 目	平均	30歳未満	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
30歳代の所有数量が他の年齢階級よりも多い品目							
空気清浄機	416	442	480	448	442	416	296
40歳代の所有数量が他の年齢階級よりも多い品目							
食器洗い機	271	117	327	352	276	255	177
ビデオレコーダー	1,135	775	1,160	1,392	1,327	1,059	786
ビデオカメラ	475	479	724	763	476	290	218
書斎・学習用机	1,039	332	782	1,517	1,357	883	699
50歳代の所有数量が他の年齢階級よりも多い品目							
電動ミシン	656	290	529	707	753	692	597
洋服だんす	1,494	904	1,100	1,518	1,676	1,565	1,568
整理だんす	1,790	1,247	1,354	1,742	2,086	1,943	1,728
ベッド・ソファベッド	1,284	801	1,030	1,459	1,645	1,265	991
自動車	1,414	1,160	1,336	1,447	1,756	1,497	975
オートバイ・スクーター	177	178	167	190	225	171	123
カラーテレビ（ブラウン管）	1,326	655	909	1,249	1,581	1,478	1,339
ステレオセット又はCD・MDラジオカセット	1,125	740	933	1,279	1,427	1,099	867
パソコン	1,157	956	1,174	1,395	1,478	1,087	654
ピアノ	256	80	154	291	338	279	202
60歳代の所有数量が他の年齢階級よりも多い品目							
太陽熱温水器	63	13	19	42	78	86	80
ユニット家具	79	24	42	78	91	95	80
薄型テレビ	865	735	764	797	918	967	839
70歳以上の所有数量が他の年齢階級よりも多い品目							
和だんす	1,065	312	450	841	1,183	1,292	1,458
茶だんす・食器戸棚	1,391	951	1,068	1,217	1,430	1,543	1,646
応接セット	253	71	91	167	265	331	378
電気マッサージチェア	159	23	52	93	172	217	242
じゅうたん	207	49	63	105	178	304	356
年齢階級別に大きな差がみられない品目							
電子レンジ	1,032	996	1,004	1,018	1,063	1,051	1,013
自動炊飯器	904	868	872	883	915	922	922

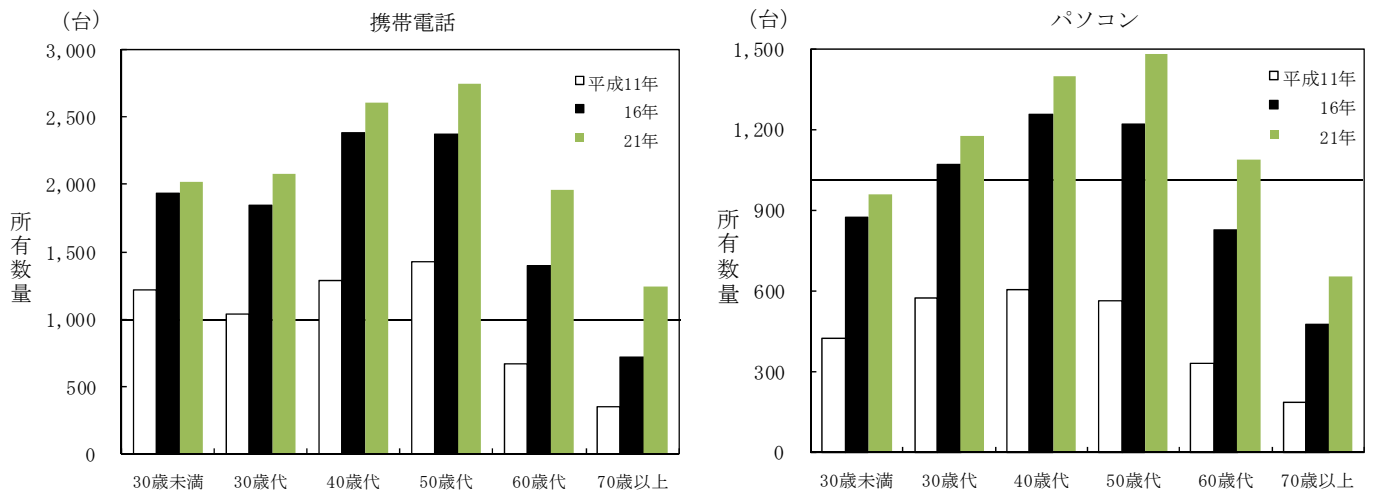
(2) 携帯電話及びパソコン

携帯電話及びパソコンについて、世帯主の年齢階級別の所有数量を平成11年及び16年と比べると、すべての年齢階級で所有数量が増加しており、特に60歳代及び70歳以上で増加率が高くなっている。

携帯電話については、70歳以上の1000世帯当たりの所有数量が、平成16年は722台であったが、21年は1,237台となり、すべての年齢階級で1,000台を上回っている。

パソコンについては、平成11年及び16年は40歳代が最も多かったが、21年は50歳代が1,478台で最も多くなっている。(図Ⅱ-1, 表Ⅱ-2)

図Ⅱ-1 世帯主の年齢階級別1000世帯当たり携帯電話及びパソコンの所有数量
(二人以上の世帯)



表Ⅱ-2 世帯主の年齢階級別1000世帯当たり携帯電話及びパソコンの所有数量及び増加率 (二人以上の世帯)

	所有数量 (台)						増加率 (%)						
	30歳未満	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	30歳未満	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	
携帯電話													
平成11年	1,216	1,039	1,286	1,431	671	348	平成16年(対11年)	59.0	78.0	85.1	66.0	107.5	107.5
16年	1,934	1,849	2,381	2,375	1,392	722	21年(対16年)	4.4	12.3	9.3	15.6	40.8	71.3
21年	2,020	2,076	2,602	2,746	1,960	1,237	21年(対11年)	66.1	99.8	102.3	91.9	192.1	255.5
パソコン													
平成11年	425	571	604	564	332	183	平成16年(対11年)	104.9	87.6	107.9	116.5	149.1	160.7
16年	871	1,071	1,256	1,221	827	477	21年(対16年)	9.8	9.6	11.1	21.0	31.4	37.1
21年	956	1,174	1,395	1,478	1,087	654	21年(対11年)	124.9	105.6	131.0	162.1	227.4	257.4

(3) 自動車

自動車について、世帯主の年齢階級の所有数量をみると、50歳代が1,756台と最も多く、次いで60歳代が1,497台、40歳代が1,447台と続いている。

内訳をみると、国産自動車のうち軽自動車(排気量660cc以下)、小型自動車(同661～2000cc)及びハイブリッド車・電気自動車は50歳代、普通自動車(同2001cc以上)及び輸入自動車は40歳代が最も多くなっている。

平成16年と比べると、自動車の所有数量は平均で2.2%の減少となっており、60歳未満の各年齢階級において減少している。

軽自動車の所有数量は40歳代を除くすべての年齢階級において増加している一方、小型自動車の所有数量は60歳代を除くすべての年齢階級で、また、普通自動車の所有数量は70歳以上を除くすべての年齢階級で減少している。(表Ⅱ-3)

表Ⅱ-3 世帯主の年齢階級、自動車の種類別1000世帯当たり所有数量及び増減率
(二人以上の世帯)

		平均	30歳未満	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	
所有数量(台)									
自動車	自動車	1,414	1,160	1,336	1,447	1,756	1,497	975	
	国産自動車	軽自動車	422	366	350	394	548	461	321
		小型自動車	668	559	635	641	811	730	489
		普通自動車	251	193	284	317	303	237	126
		ハイブリッド車・電気自動車	19	7	12	18	26	25	14
	輸入自動車	53	34	54	77	68	44	25	
増減率(%)									
自動車	自動車	-2.2	-6.4	-1.5	-6.6	-1.4	5.2	6.3	
	国産自動車	軽自動車	8.5	8.6	6.7	-5.7	13.9	20.7	15.5
		小型自動車	-6.6	-8.5	-0.6	-9.1	-10.1	0.1	-2.2
		普通自動車	-12.8	-20.9	-12.1	-11.9	-9.8	-10.6	13.5
		ハイブリッド車・電気自動車	—	—	—	—	—	—	—
	輸入自動車	-1.9	-26.1	-19.4	16.7	9.7	-2.2	-10.7	

注1) 軽自動車—排気量660cc以下

注2) 小型自動車—排気量661～2000cc

注3) 普通自動車—排気量2001cc以上

注4) ハイブリッド車・電気自動車は平成21年からの調査のため、増減率はない。

2 年間収入五分位階級別主要耐久消費財の所有状況

年間収入五分位階級別に耐久消費財の所有数量をみると、いずれの品目も年間収入が高い階級になるほどおおむね所有数量が多くなっている。これを第Ⅰ階級の所有数量に対する第Ⅴ階級の所有数量の比でみると、最も大きいのは輸入自動車で、第Ⅰ階級が17台、第Ⅴ階級が120台でその比は7.06倍となっている。次いでゴルフ用具一式(3.32倍)、食器洗い機(3.05倍)、ピアノ(3.05倍)と続いている。

一方、第Ⅰ階級の所有数量に対する第Ⅴ階級の所有数量の比が最も小さいのは太陽熱温水器で、第Ⅰ階級が66台、第Ⅴ階級が69台でその比は1.05倍となっている。次いで茶たんす・食器戸棚(1.07倍)、洗濯機(1.07倍)、電子レンジ(1.09倍)、自動炊飯器(1.13倍)と続いている。(表Ⅱ-4)

表Ⅱ-4 年間収入五分位階級別1000世帯当たり主要耐久消費財の所有数量
(二人以上の世帯)

(第Ⅰ階級の所有数量に対する第Ⅴ階級の所有数量の比が2.0倍を超える耐久消費財) (台)

順位	品目	平均	第Ⅰ階級 ①	第Ⅱ階級	第Ⅲ階級	第Ⅳ階級	第Ⅴ階級 ②	第Ⅰ階級と第Ⅴ階級の比(倍) ②/①
1	輸入自動車	53	17	30	40	60	120	7.06
2	ゴルフ用具一式	452	223	335	438	534	740	3.32
3	食器洗い機	271	135	211	278	329	412	3.05
3	ピアノ	256	138	193	232	303	421	3.05
5	ユニット家具	79	47	59	69	79	135	2.87
6	書斎・学習用机	1,039	589	807	1,009	1,279	1,556	2.64
7	パソコン	1,157	654	908	1,153	1,407	1,706	2.61
8	ビデオカメラ	475	262	391	521	594	629	2.40
9	ベッド・ソファベッド	1,284	857	1,042	1,215	1,481	1,858	2.17

(第Ⅰ階級の所有数量に対する第Ⅴ階級の所有数量の比が1.5倍未満の耐久消費財) (台)

順位	品目	平均	第Ⅰ階級 ①	第Ⅱ階級	第Ⅲ階級	第Ⅳ階級	第Ⅴ階級 ②	第Ⅰ階級と第Ⅴ階級の比(倍) ②/①
1	太陽熱温水器	63	66	67	55	60	69	1.05
2	茶たんす・食器戸棚	1,391	1,378	1,406	1,340	1,371	1,469	1.07
2	洗濯機	1,092	1,069	1,075	1,076	1,096	1,143	1.07
4	電子レンジ	1,032	991	1,014	1,032	1,045	1,082	1.09
5	自動炊飯器	904	854	886	904	918	965	1.13
6	冷蔵庫	1,235	1,181	1,199	1,192	1,240	1,360	1.15
7	和たんす	1,065	1,043	1,054	965	1,022	1,205	1.16
8	電気掃除機	1,375	1,276	1,326	1,350	1,395	1,532	1.20
8	カラーテレビ(ブラウン管)	1,326	1,244	1,262	1,277	1,349	1,498	1.20
10	洋服たんす	1,494	1,354	1,443	1,434	1,523	1,709	1.26
11	鏡台	709	645	678	671	725	820	1.27
12	整理たんす	1,790	1,594	1,717	1,734	1,858	2,084	1.31
13	食堂セット	810	693	786	807	845	930	1.34
14	給湯器	597	493	562	584	634	713	1.45
15	オートバイ・スクーター	177	144	172	171	195	212	1.47